

明日を担う若手職員を紹介します！

No.1 道路建設課 技師 櫻庭志歩さん

美しい県土づくり NEWS では、今月号から、県土整備部の明日を担う若手職員への突撃 お仕事インタビューを掲載します。当部若手職員の日頃の仕事内容や仕事に対する心意気などをご紹介しますので、ご期待ください。

第1回は、数少ない女性技術者の中から、**県庁道路建設課の櫻庭技師**です。

Q1 担当している仕事を教えてください

平成17年度入庁

岩泉土木事務所（現 岩泉土木センター）にて

主に道路災害防除工事（落石・高波対策）を担当

（現在）道路建設課 2年目

県土整備部の重要課題でもある「救急搬送ルートの道路改善」の取組や、今年度実施予定の「道路交通センサス（自動車の使い方や交通量の全国調査）」などの業務を担当しています。



Q2 仕事の面白いところは何ですか？

岩手県では道路整備が必要な箇所がまだまだたくさんあり、自分の仕事が県民皆さんの交通の利便性に直接関わっているため、やりがいを感じています。面白いというか嬉しいのは、やはり、工事が完成し地域の方々の喜びの声を聞くことができた時ですね。

Q3 仕事の難しいところは何ですか？

学生時代、国語が苦手な理系に進学した経緯もあり、文章を書くのがとても苦手です。特に今の所属では、説明力や分かりやすい資料作り（文章作成能力）が工作上重要であり、それを求められるため、とても難しいです。

また、携わっている業務の関係上、県内各地の道路の整備状況などについて把握しなければならないことが多いので、苦労しています。

Q4 どんな職場ですか？

優しい方が多く、仕事はもちろん、他のことでも色々相談できる居心地のいい職場です。基本的にはチームではなく個人での業務が多いのですが、多忙になるとフォローしてくれる良き先輩方に囲まれています。みんなカメラの被写体は苦手ですが、普段は笑顔満点の明るい職場です。

Q5 最後に一言（今後の抱負など）！

業務を滞りなく遂行することは勿論ですが、「提案する県土整備部」として、（今はない）発想力を磨いて様々なことにチャレンジしていきたいと思います！

職場の様子

